

## ～ ある日の朝会で 「思いやり算」 ～

数年前 AC ジャパンの CM で流れていた「思いやり算」の話をもとに、朝会で子供たちに次のような話をしました。

算数で、「+」「-」「×」「÷」の計算を勉強しますが、算数以外で「思いやり算」というのがあります。

★「+」は、**たす**け合うことです。

一人一人の力は小さいものであっても、仲間が力を合わせ、協力し合うことで、大きな力になります。

★「-」は、**ひき**うけることです。


困っている人のちょっとした引き受けてあげることです。誰でもしんどいことや面倒なことは引き受けたくないものです。でも、それを引き受けることで相手は喜びます。相手の喜びが感じられれば引き受けた人も喜びを感じられます。喜び合える関係が作れます。


★「÷」は、**いたわ**ることです。


労るには、いくつかの意味がありますが、その中に「親切に接する。相手を大切に世話する」という意味があります。いたわりの心で接すれば、相手の心がなごみ、笑顔が返ってくるでしょう。


★「×」は、どんな思いやり**かけ**算が考えられるか?考えてみてねと問いかけました。

子供たちは、「**声をかける**」「**話しかける**」「**気にかける**」と考えてくれました。なるほど。よく考えています。どれも、相手を思いやることだと思います。

**+** (たす)   
“**たす**けあう”と  
大きな力になる。

**-** (ひく)   
“**ひき**うける”と  
喜びがうまれる。

**×** (かける)  
“**声をかける**”  
“**話しかける**”  
“**気にかける**” 

**÷** (わる)   
“**いたわ**る”と  
笑顔がふえる。



小さな優しさが人に笑顔をあたえます。気配りや心配りが人の気持ちを通じさせます。四則計算では、かけ算とわり算は優先ですが、「思いやり算」には、なに算が先といったことがありません。また、どのような計算をしてもプラスになることばかりです。できることから行動に移していきたいと思います。思いやりいっぱい坂小学校になりますように…